

第42回アイ・エス・エフ 見本市レポート 大震災の影響下で開催し、来場増に ～“足の美と健康”の企画に大勢が参加

ウェルネスとファッションの国際靴・雑貨見本市「第42回ISF」が4月12～14日、東京・池袋サンシャインシティ文化会館で開催された。3月11日に発生した東日本大震災と福島原発の事故の影響で、海外出展社の出展取りやめが目立ったが、海外出展社を含む101社が出展。出展社数101社の内訳は国内72社、海外29社。海外からは台湾、中国、ドイツ、フランス、香港、バングラデシュから出展があった。3日間の来場者数は消費者を含めて5009人(前回比4%増)を数えた。

東日本大震災を境に物販需要は停滞し、消費者の消費マインドは低下している。そんな中での見本市開催は、東北地方からの業者来場が激減する結果となった。一方で関東・東海地区からの来場者数は2ケタ増を見せた。「厳しい時だからこそ、“次”に向かって動いていかねば」という声が、来場者ならびに出展社の双方から上がった。ビジネスに前向きな来場者が多かった結果、「予想を上回る商談になった」と話す出展社もあり、商談の数字面では好結果となった。

1フロア開催となった会場のゾーニングは今回もウェルネス、ファッション、グローバルで構成。大きな柱となったウェルネスゾーンでは「足の美と健康」に良い靴のほか、インソールや靴下、フットケア用品や器具が出品され、ウェルネス商品による新業態開発の提案が行われた。同時にウェルネスに関連したセミナー、イベント、体験、相談なども多角的に開催、充実した内容の見本市となった。

今回も会期3日目は「足と靴の悩み、解決します」をテーマに、一般消費者にも開放した。ここでも終日「足の美と健康」に関連したイベントを開催し、ウォーキング指導やNPOオーソティックスソサエティのメンバーが教える「正しい靴選び」、インソールを製作実演なども行った。

各種催しを通して出展メーカー・卸が消費者との接点を持つ機会が着実に進んでおり、新たなビジネスを構想する機会となっている。

● 概要

第42回アイ・エス・エフ

展示品目：靴、健康関連グッズほか
出展：101社
来場：5,009名
主催・運営：エフワークス(株)
後援：対日貿易投資交流促進協会(ミプロ)



◆ 「ファッションショー&MDセミナー」は好評◆

○セミナー会場では3日間通して、1日2回「ファッションショー&MDセミナー」が行われた。MDセミナーのテーマはいま有望な「ローリング&トーニング」。この導入ポイントを解説した。連動して行われたファッションショーではローリング&トーニングシューズのほか、秋冬シューズコレクションをレッグウエアとコーディネートして見せ好評を博した。

○靴メーカーが展示会団体であるSHOEXのゾーンでも1日3回、出展社のコレクションをファッションショー形式で紹介、商品の特色やコレクションの内容を解説した。



① トーニング&ローリングMDセミナーと連動して行われたファッションショー



② SHOEXのメンバーも出展商品をファッションショーでアピールした

◆ウェルネス関連のセミナー・実演はさらに多彩に◆

○「健康を増進し、スタイリッシュで快適に暮らす」ライフスタイルを提案するウェルネス関連の靴や機能ソックス、インソール、フットケア商品、機器の展示ブースは引き続き拡充した。同時にセミナーやファッションショー、実演など多彩なメニューで連日イベントを開催、ウェルネス商品を体感してもらうと同時に、接客方法のノウハウを披露した。

○今見本市で行われたイベント、実演は次の通り。

1. 接客で使えるウォーキング

○前回好評だったモデルの体型管理を手掛ける小倉義人氏が、今回は「ふくらはぎから全身やせる！ オグラ式“美脚点”メソッド」というテーマに、美脚メイキング法を披露した。

○健康ウォーキング指導士・歩行アドバイザーの星政和氏は、靴店がお客様にウォーキングを正しく指導すれば、必ずウォーキングシューズが売れるという考え方から「靴店の将来は明るい！ これからの靴店はウォーキングで決まる」と題した実演セミナーを行った。

2. ブース内での足ドック・イベント

「足美容“今日からあなたも足美人”」

フスウントシューインスティテュート&日本フットケア技術協会(JAFTA)のブースでは、FSIフスフレーザーの大岩久恵さんらによって、来場者の足の手入れを行い、健康的な生活のために役に立つフットケアを実践して見せた。ブース内は連日、途切れることがなかった。

「足の専門家による、足と靴のアドバイス」

NPOオーソティックスソサエティーのブースでは来場者の足を採寸すると同時に歩き方や足の状態から適切な靴の選び方や歩き方をアドバイスした。

「体験！ Myインソール製作」

靴資材の㈱村井ブースでは”シューフィット・アカデミー”として、自分で靴のインソールを作る体験企画が行われた。

「これがキメ技、靴の超手入れ法」

シューケアの草分け的存在でテレビ番組でも時々、手入れ指導を行う彩革の匠の安富好雄氏が、革製品のシミやカビを落とす独自の手入れ法を実演した。

このほか、日本整形靴技術協会(IVOジャパン)ブースでは連日、ウェルネス提案の接客を目指す売場に向け、足型計測のノウハウ実演した。また、イベントスペース周辺では出展各社の高機能インソールやソックスを展示し、商品を展示すると同時にフロアにインソールを並べ、足を載せてはきごこちを実感してもらった。

3. アロマを活用した店作り

○アロマを売場で使うことで、おもてなしや滞在時間のアップにつなげることを提唱しているアロマ空間デザイナーの石川景子さんによる「今日から始める、香りのおもてなし」の実演も、店作りの参考になる内容だった。



③ 毎回多くの参加者を集める実演セミナー



④ 健康ウォーキング指導士・歩行アドバイザー星政和さんによる、健康のためのウォーキング実演指導



⑤ フスフレーザーによる足の手入れ体験コーナーは連日、人が途切れることがなかった



⑥ オーソティックスソサエティーのメンバーによる足型計測も行われた



⑦ 彩革の匠、安富好雄氏による靴の手入れ法セミナー



⑧ 「アロマを使った店作り」は新しい売場演出法だ

会場には出展社の商品を展示した「ISFいち押しシューズコレクション」コーナーを設け、好きな靴が当たる、恒例の人気投票が行われた。会期中の投票だけでなく、会期後は4月28日～5月31日まではウェブでも投票も受け付け、6月15日に抽選、発表される。今回のウェブ出品商品は3D撮影による写真が使われており、360°立体的に意的に見られる。

◆見本市で提案された2011年秋冬シューズ・トレンド◆

◎レディス

エレガントとカジュアルそれぞれの要素を融合したデザインが主流。さらにアウトドアテイストやトラッドテイストなどが注目される。例えばトレッキングのハトメやヒモを取り入れたショートブーツ、ヒールアップしたオックスフォードやモカシンなど。

●素材

柔らかなものの人気が続く。ファーやニットも根強く、革とのコンビ使いのほか、ラバーブーツにまで施されている。

●カラー

秋冬らしく暖かみのあるトーンやベージュやブラウンなどの基本色が目立つ。

●ラスト&ヒール

ラストはこれまでのラウンド一辺倒から脱却し、捨て寸短めのポイントが登場してきた。底まわりはトレンド商品でもコンフォートでも厚めで、太いハイヒールと厚いストーム、極端な厚みのウエッジなどがある。またトーンングシューズのような傾斜を少しだけ取り入れたソールも。



L①「アルシュ」(アルシュ)



L②「ソーナイス」(エルピーディ)



L③「ソーナイス」(エルピーディ)



L④「ソーナイス」(エルピーディ)



L⑤「ナンジョダール」(宮城興業)



L⑥「ナンジョダール」(宮城興業)



L⑦「Z019」(シノハラシューズ)



L⑧「Z019」(シノハラシューズ)



L⑨「ダヴ」(ファッションリンク)



L⑩「ダヴ」(ファッションリンク)

◆見本市で提案された2011年秋冬シューズ・トレンド◆

◎メンズ

ワークや登山靴をモチーフにしたアウトドアテイストのカジュアルが、前シーズンから継続して数多く提案されている。

●素材&パーツ

丸く厚みがあり、底回りも重厚な見た目のラバーソールが目立つ。

レザーはムラ感のあるキャメル、ダークブラウンが中心。

スエードやヌバックをはじめフェルト、ツイードの温かみのある素材が積極的に採用されている。



M①「ファロル」(シバ製靴)



M②「ファロル」(シバ製靴)



M③「フランコジョバニ」
(ヴァンコーポレーション)



M④「テキサスビレッジ」
(サンダー商事)



M⑤「カンサイヤマモト」
(オリエンタルシューズ)



M⑥「インブループマイセルフ」
(シブヤ製靴)



M⑦「フィッチェ」(東群馬)



M⑧「インブループマイセルフ」
(シブヤ製靴)

次回開催概要

名 称：第43回アイ・エス・エフ
日 時：2011年10月4日(火)～6日(木)
場 所：東京・池袋サンシャインシティ文化会館(2、3F)
主催・運営：エフ ワークス(株)
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-28-5
TEL. 03-5825-3155 FAX. 03-5825-3158
<http://www.isf-web.jp/> isf@f-works.com